

精神障がい者地域生活支援事業（北網圏域）

企 画 提 案 書

企画提案者名 _____

※企画提案書の記載、作成に当たっては、《記載に当たっての留意事項》を参考とすること。

1 精神障がい者に対する支援実績等について

これまでどのように実施してきたか具体的にPRしてください。

- (1) 事業実績について
 - ・実施している事業所の種別・定員数・設置市町村
 - ・事業内容、実施年数など（道及び市町村からの事業受託の状況を含む。）
 - ・市町村等との連携体制（各協議会等への参画など）
- (2) 精神障がい者の地域生活移行について

2 センターの支援体制について

実績（経歴）等について、積極的にPRしてください。

- (1) センター長（地域体制整備コーディネーター）
 - 氏名（ふりがな）
 - 資格
 - 主な経歴
 - 相談支援従事者研修等の修了の有無
 - 当該事業への従事形態
- (2) ピアサポーター
 - 人数（予定を含む。）
 - 具体的な養成、育成方法

3 今後の事業展開について

次の各項目について、どのように実施するか、また、その際に想定される課題にどのように対応するかなどについて具体的に提案してください。

- (1) 地域生活移行支援協議会の設置・運営
- (2) 関係機関との連携
 - ・精神科病院や障害福祉サービス事業者等との連携づくり
- (3) 対象者への個別支援
 - ・ピアサポーターの活用
- (4) その他必要な取組
 - ・地域生活移行に向けた普及啓発活動など

4 業務処理体制等について

次の各項目について、どのように実施するか、また、その際に想定される課題にどのように対応するかなどについて具体的に提案してください。

- (1) 退院後の支援体制づくり
 - ・市町村及び地域自立支援協議会との連携・協力体制
- (2) 業務処理計画
 - ・具体的な事業運営計画（今後の事業スケジュール）

5 所要経費の積算

区分	内訳	金額
人件費		
管理費		
活動費		
ピアサポーター経費		
合計		

《記載等に当たっての留意事項》

【1. 企画提案書の作成】

- (1) 「1－(1) 実施している事業所の種別・定員数・設置市町村」については、精神障がい者地域生活支援事業以外も含めすべて記載してください。

精神障がい者の相談支援・地域生活支援に関して、具体的な取組（事業名があれば当該事業名）の内容及び実施年数を記載してください。

また、市町村や関係機関等との連携において、これまで具体的な取組を行っている場合、その内容について記載してください。

- (2) 「1－(2) 精神障がい者の地域生活移行について」は、本事業に対する考え方を具体的に記載してください。

- (3) 「2 センターの支援体制について」のセンター長（地域体制整備コーディネーター）は、当該事業を実際に担当する者を記載してください。

よって、提出後に当該事業を担当できなくなった場合は、プロポーザルの選定（場合によっては委託契約）を取り消す場合がありますので、確実に担当する者としてください。

- (4) 「3 今後の事業展開について」及び「4－(1) 退院後の支援体制づくり」については、本事業の円滑な実施に向けて計画している実施内容や方法、考え方について具体的に記載してください。

- (5) 「4－(2) 業務処理計画」については、事業の今後の一連の流れがわかるよう具体的に記載してください。

- (6) 「5 所要経費の積算」は、必ず「人件費」、「管理費」、「活動費」及び「ピアサポーター経費」に区分し記載してください。

- (7) 様式については、任意のものでかまいません。

- (8) 企画提案書は、1法人1提案とします。

【2. 添付資料】

- (1) 法人関係

定款、役員名簿

- (2) 職員関係

ア 職歴又は経歴書（略歴書）

イ 「社会福祉士、精神保健福祉士、保健師、介護支援専門員の資格証の写し」、
「障がい者ケアマネジメント従事者養成に関する研修修了書の写し」等

- (3) 業務実施関係

ア 事務所の所在がわかる位置図

イ 建物全体及び使用する部屋の写真

ウ 法人の組織図（組織内において、当該センターの独立性が確認できるもの）

エ センター事業が他の事業会計と区分していることがわかるもの